



新学期が始まってから1ヶ月半がたちました。始業式ではそれぞれの目標を胸に、期待と不安が入り交じってのスタートだったと思います。それぞれの学級に慣れ、思い思いに過ごす子供達の姿が見受けられます。

さて、本年度は、教科書改訂の年です。小学校では、道徳科が教科化されてから2度目の改定となります。徳島県の地域教材も採用されて



おり、1年生「なるとのうずしお」4年生「アカウミガメの来るまでは」5年「シンボルマークにこめられたものは」6年「これが日本」「第九がひびく町—ドイツと鳴門友好のかけ橋—」が掲載されています。ぜひ、保護者のみなさんも一度ご覧になってみてください。

保護者のみなさまにアンケート！！

前号で、『「思いやり」「規範意識」「命」の3項目に重点をおき、子どもたちの道徳性を育むことを目指しています。』とお伝えさせていただきました。ところで、「思いやりがある子供」とは一体どのような子供なのでしょう。国府小学校の保護者のみなさんが考える「思いやりのある子供」の姿をぜひ QR コードから投票、もしくは、下記の用紙を切り取って学級に提出してください。たくさんの方に投票していただくと幸いです。結果は次号でお知らせします。



国府小学校の保護者が考える「思いやりがある子供」の姿とは？



おにいさん・おねえさんありがとう



内容項目：感謝

5月10日に1年生を迎える会がありました。上級生に迎えられ、1年生は嬉しそうな表情をうかべていました。また、6年生が給食の準備、5年生が掃除を手伝ってくれたり、2年生が学校探検に連れていってくれたりとお兄さん・お姉さんにお世話になりながら活動しています。2～6年生の子供たちは、1つ学年が上がり、自分より年下の子に対しての思いやりの心を育てています。



いっしょに
学校探検をして
くれて
ありがとう。

給食の準備を
してくれて
ありがとう。



掃除を
手伝ってく
れて
ありがとう。